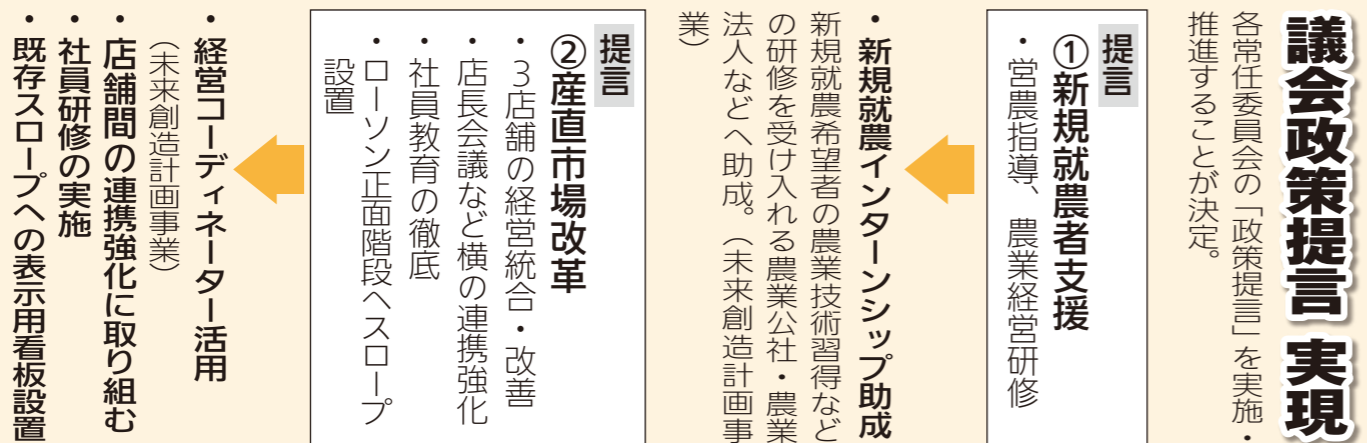


# 96億9,000万円

前年度比**2.7%**の減



# 全会一致で可決!

## 未来創造の基盤を整備

### 3月定例会

3月定例会は3月5日から、16日までの会期で開かれ、平成24年度当初予算案、平成23年度各会計補正予算案、介護保険条例などの条例改正および議員提出の意見書2件を含む72議案を審議し、全て原案どおり可決した。総括質問では、13人の議員が予算大綱など当面する町政についてたずねた。

### 予算大綱（施政方針）の主な内容



合併から今日までの集大成と見え、本町の未来を創造する基盤を整備する予算とし、住民が明るい未来や夢を創造・実感できるまちづくりに向け、きめ細やかで充実した予算編成を行った。

「信頼と合意」「創造と改革」の基本理念のもと、「県内で一番住みやすい町」「誰もが住んでみたい町」の理想郷づくり実現に取り組む。

### 最重要課題として取り組みを推進!

1. 雇用の創出（企業誘致を念頭に若者の職場を確保）
2. 農業の6次産業化推進（未来創造計画）
  - ・ 赤と黒のプロジェクト（トマト・和牛・ブドウ）
  - ・ 小規模団地の整備
  - ・ 油木高校との連携（食用ナマズの養殖・養蜂）
  - ・ 新商品開発、販路拡大
3. バイオマス構想の推進
4. 学校教育環境の充実（小学校施設整備、中学校再編）

### 未来創造の主な取り組み

1. 高原の特長を生かし快適で魅力に満ちたまちづくり
  - ・ 地域おこし協力隊の活動、買い物困難者支援、源流の里維持再生など自治振興会との協働で地域力強化
  - ・ 地域防災計画の見直し・ハザードマップ作成・消防自動車更新・耐震性防火水槽設置、バイオマス調査研究
2. 保健・医療・福祉が充実した安心して暮らせるまちづくり
  - ・ 子宮頸ガン・ヒブ・小児用や高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種継続・妊婦歯科検診無料化・第3子からの保育料半額・託児所保育料の減額・幼稚園への助成充実
3. 自然と歴史を生かした文化のまちづくり
  - ・ 神石小学校給食棟建設、統合中学校建設設計、神石小学校校舎建設・豊松小学校体育館耐震化工事
  - ・ エコスクール見える化・体験活動推進事業で児童間交流、高連携教育、油木高校支援
4. 地域資源を生かし活力ある産業と交流のまちづくり
  - ・ 未来創造事業の実施、新規就農希望者の研修・担い手確保、6次産業化推進、ブランド発信、産直市場の運営改善・経営ローディーネター活用・体制整備・販路拡大
  - ・ 油木高校の食用ナマズ養殖・養蜂の市場性検証
  - ・ 鳥獣害対策・猿用電気ネット・被害のり面復旧助成
  - ・ 店舗リニューアル・空き店舗活用へ助成、観光案内所創設・帝釈峡観光振興推進・国内外都市との姉妹提携調査
5. 交通・情報通信基盤が整い一体感あふれるまちづくり
  - ・ かがやきネットの安定運営など情報通信基盤整備
  - ・ 町道宇賀線改良（神石）、交通支障木除けへの助成（自治振興会を対象）、積雪対応に配慮した安全な道路管理

### 予算案に賛成

平成24年度予算案に対する質疑の後、議会を代表して総務文教常任委員長が賛成意見を述べ、全会一致で可決。

本町の財政状況は行財政改革など、財政健全化に努めた結果、実質公債費比率は、18.0%まで回復している。歳入面では、地方交付税や特別交付税は震災の影響で減少が見込まれており、自主財源の乏しい本町にとって引き続き予断は許されない。

「第2次行財政改革プラン」の策定や新たな公会計による財政運営の検証など、「持続可能なまちづくり」に取り組む姿勢は高く評価できる。一般会計当初予算案は「歳入に見合った歳出」を基本に、総額では前年度比2.7%、2億7000万円減の96億9000万円の予算となっている。

予算大綱で示された「夢と創造」をキーワードに未来創造の基盤整備のため、最重要課題実現にむけ、予算審議での各議員からの指摘や提案などを十分参酌の上、「積極的にチャレンジ」し、住民が「明るい未来や夢を創造し実感できるまちづくり」の実現に向けて、改善工夫されることを要望し予算案に賛成する。